

事業所(スタッフ)における自己評価表

公表： 令和6年3月18日

対象スタッフ:6名

事業所名: ステップメイト矢本

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善内容、改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	・R6,4に移転するので改善される点があると思う。 ・移転後はより子どもたちが過ごしやすい空間にしていく	曜日によっては人数が多く狭く感じる
	②	職員の配置数は適切である		6		退職者が出たので少なく感じる
	③	活動スペースは、本人に分かりやすく構造化された環境になっている。また、必要に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化など配慮が適切になされている	3	3		スペースの問題もあり難しいところもある。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		アクティブな子がいると活動スペースが狭くなるので工夫が必要。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	5	1		
	⑥	保護者様に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			
	⑦	事業所として自己評価を行うとともに、その結果から支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		6		
	⑨	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保している	2	4		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成している	6			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	⑫	放課後等デイサービスガイドラインを踏まえ、子どもの支援に必要な項目を複数組み合わせた上で、具体的な支援内容が設定されている	5	1		
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団行動を適切に組み合わせ個別支援計画を作成している	6			
	⑭	個別支援計画に沿った支援が行われている	5	1		

適切な支援の提供	⑮	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		
	⑯	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		
	⑰	平日・長期休みに応じて課題を決め、細やかに設定し支援している	4	2		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	4	2		
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りや気づいた点等を共有している	3	3		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	6			
	㉒	子どもの主治医やかかりつけを把握しているか。また、協力医療機関と連絡体制を整えている	3	3		
	㉓	学校との情報共有(それぞれの場所での子どもの様子・年間計画・行事予定・下校時間の確認)や、連絡調整(送迎時のやトラブル発生時の対応)を適切に行っている	6			
	㉔	就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援センター、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		
	㉕	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から、他のサービスに移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしている	6			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、他の子ども達と活動する機会がある		6		
	㉗	自立支援協議会や地域の子ども会・子育て会義などに積極的に参加している		6		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			

保護者への説明責任等	③〇	運営規定、重要事項説明、支援内容、利用者負担など丁寧な説明を行っている	6			
	③1	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	5	1		
	③2	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		
	③3	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなど、保護者同士の連携を支援している		6		
	③4	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	③5	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	5		
	③6	個人情報の取扱いに十分注意している	6			
	③7	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	③8	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を図っている		6		
非常時等の対応	③9	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6			
	④0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	6			
	④1	アレルギーや既往歴など、子どもの状況を事前に把握し対応している	5	1		
	④2	ヒヤリハットなど事例集を作成し事業所内で共有している	4	5		
	④3	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしている	4	2		
	④4	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了承を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	1	5	事例がないので分からない	

※この「事業所における自己評価結果」はスタッフが事業所を評価した自己評価です。